

2018年3月期 決算説明会

2018年5月29日



目次

- 会社概要
- 2018年3月期決算概要
 - 連結業績の推移
 - 連結損益計算書 前期比較
 - 営業利益の増減要因
 - セグメント別・所在地別損益 前期比較
 - 設備投資額の推移
 - 研究開発費の推移
 - 連結貸借対照表 前期比較
- 2019年3月期 業績予想
- 株主還元
- 第二次中期経営計画達成に向けた取り組み
 - 第二次中期経営計画基本方針
 - 事業基盤の強化・拡大
 - 技術立社
 - 企業体質の基盤強化
 - 中期経営計画の達成見込み
- 参考資料
- 質疑応答

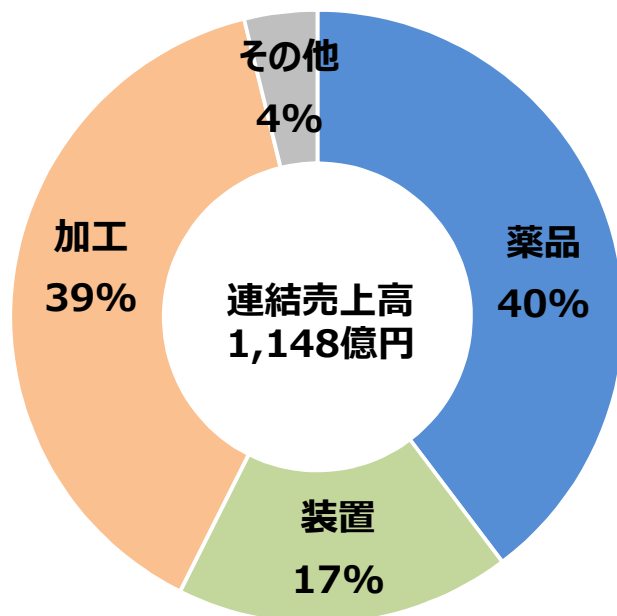
会社概要（1/2）

会社名	日本パーカライジング株式会社
代表取締役会長	里見多一
代表取締役社長	佐藤乾太郎
本社所在地	東京都中央区日本橋 1 - 1 5 - 1
創立	1 9 2 8 年（昭和 3 年） 7 月 1 2 日
上場	東証一部 1 9 6 7 年
その他	J P X 日経 4 0 0 構成銘柄（2014年1月組入） グローバルニッチトップ企業 1 0 0 選（2014年3月認定）

当社は、1928年に創業し、2018年で90周年を迎えます。日本パーカライジングは、1915年に、米国のDr.Parkerが開発いたしました、鉄にリン酸塩皮膜を施し、錆びを防止する技術の日本におけるパテントを譲り受けたことからスタートいたしました。当初は、主に軍用にこの技術を展開しておりましたが、戦後のモータリゼーション等の発展に伴い、当社事業も産業用へと拡大してまいりました。

会社概要（2/2） 売上構成割合と事業内容

2018年3月期



セグメント別売上構成割合

薬品事業

化成処理薬剤
圧延潤滑油
防錆油
無電解めっき液

装置事業

前処理/電着塗装装置
排水処理設備
粉体塗装装置
熱交換器

加工事業

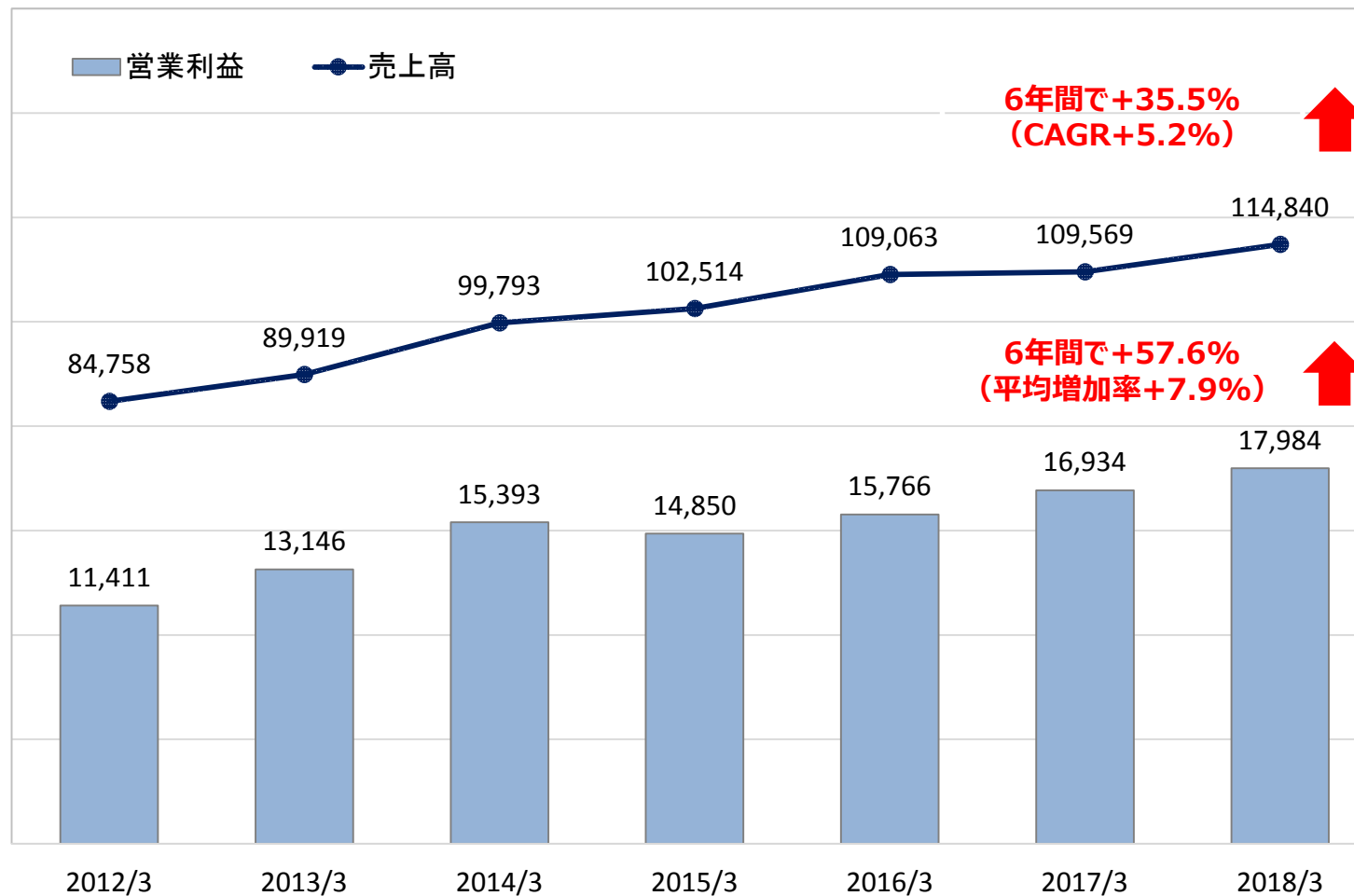
防錆加工
めっき加工
熱処理加工
塗装加工

その他事業

建物のメンテナンス工事
金属板試験片の製造販売
ボルトの製造販売
鉄鋼製品の輸出

連結業績の推移

(単位: 百万円)



売上高および営業利益ともに過去最高額を更新

連結損益計算書 前期比較

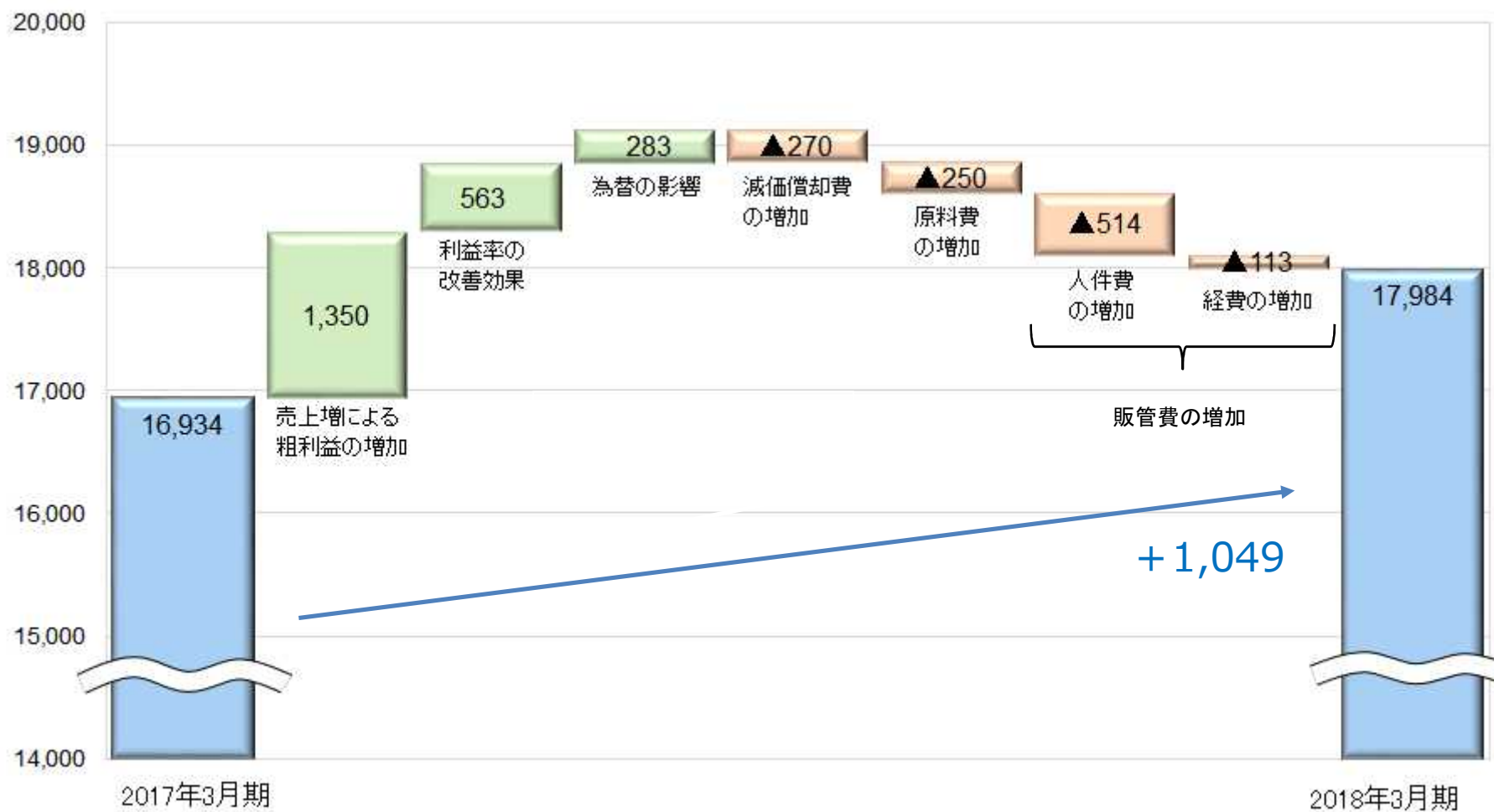
(単位：百万円)

項 目	2017/3	2018/3	増減	増減率	
売 上 高	109,569	114,840	+5,271	+4.8%	過去最高額を更新
営 業 利 益	16,934	17,984	+1,049	+6.2%	過去最高額を更新
経 常 利 益	18,779	20,750	+1,970	+10.5%	過去最高額を更新
親会社株主に帰属 する当期純利益	12,228	12,721	+493	+4.0%	
総資産経常利益率	9.7%	9.9%	+0.2%	-	
自己資本利益率 (R O E)	10.2%	9.7%	▲0.5%	-	
1株当たり利益	99.14円	104.85円	+5.71円	-	
期中平均レート (U S D)	108.84円	112.19円	-	-	

円安による影響：売上高 約+1,727百万円、営業利益 約283百万円

営業利益の増減要因

(単位:百万円)



セグメント別・所在地別損益 前期比較

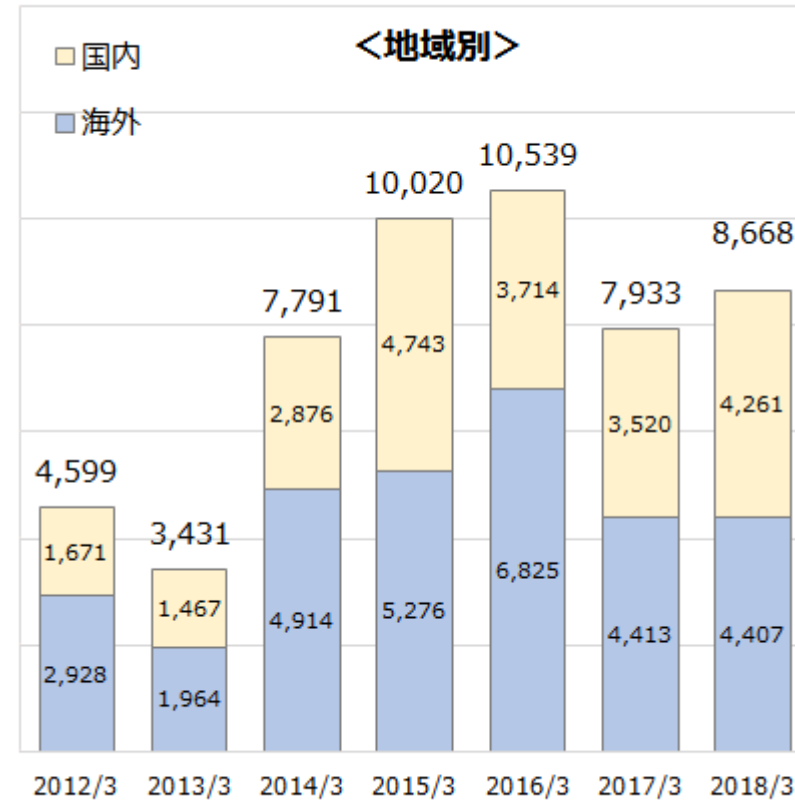
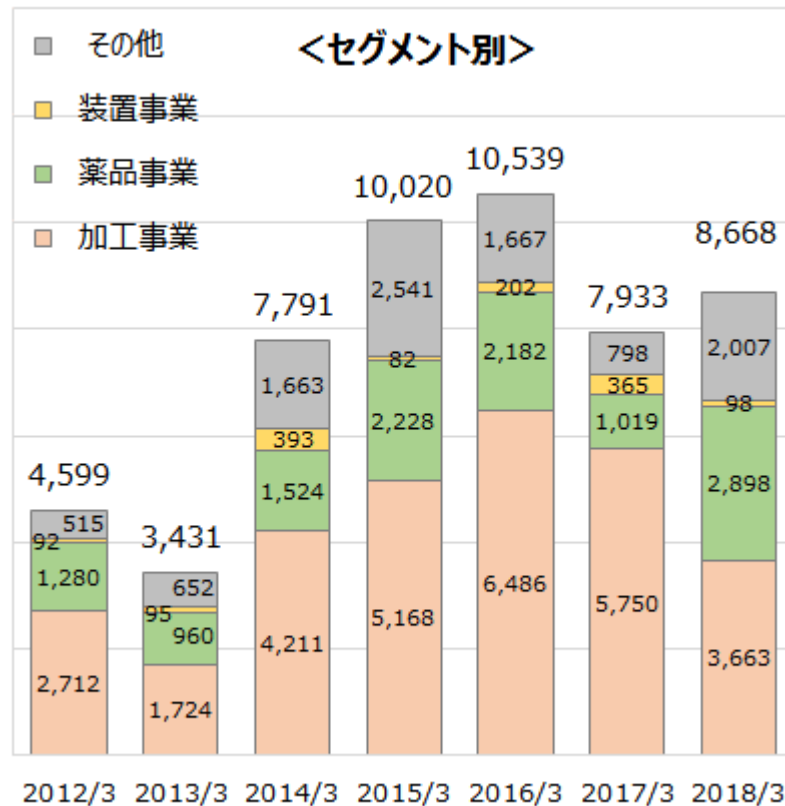
(単位：百万円)

		売上高			営業利益		
		2017/3	2018/3	増減	2017/3	2018/3	増減
薬	品	44,549	46,746	+2,197	8,973	9,465	+492
	日 本	27,508	27,870	+361	5,478	5,187	▲290
	海 外	15,840	17,729	+1,889	3,209	3,746	+536
	セグメント間売上等	1,200	1,146	▲53	285	531	+245
装	置	22,382	20,794	▲1,588	1,580	856	▲723
	日 本	12,889	10,429	▲2,460	604	147	▲456
	海 外	8,989	9,862	+873	791	470	▲320
	セグメント間売上等	503	502	▲1	184	238	+53
加	工	40,211	44,593	+4,381	7,335	8,682	+1,347
	日 本	24,015	26,489	+2,474	4,682	5,348	+665
	海 外	16,163	18,046	+1,882	2,469	3,139	+670
	セグメント間売上等	32	56	+23	183	194	+10
そ の 他		5,252	5,553	+301	288	188	▲99
調 整		▲2,827	▲2,847	▲20	▲1,242	▲1,209	+33
合 計		109,569	114,840	+5,271	16,934	17,984	+1,049

- 薬 品 : 国内：原料価格の高騰などにより増収減益
 海外：タイ、インド、中国などで需要が拡大し、増収増益
- 装 置 : 国内：設備需要の減少により減収減益
 海外：中国などで設備需要が拡大したもの、受注競争により利益は減少
- 加 工 : 国内：熱処理加工を中心に順調に推移
 海外：タイや中国で大幅に増収。メキシコの新工場本格稼働開始

設備投資額の推移

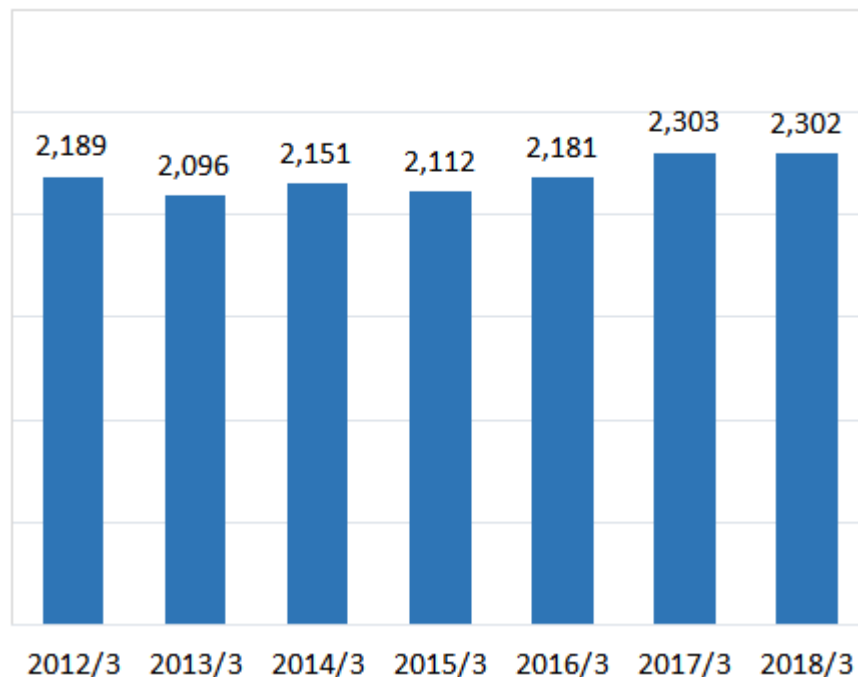
(単位:百万円)



- 2018年3月期は、国内の熱処理加工設備の増強、関西地区の自社ビル改築、韓国製造工場再編のための設備投資を実施

研究開発費の推移

(単位:百万円)



- 素材の表面に機能を付与するという「新たな価値の創造」を念頭に開発を行っており、研究開発に毎期20億円以上を継続的に投資
- 総合技術研究所を中核に、中国やタイなどの世界中のスタッフと連携し、お客様満足度を高める、迅速で的確なサービスと高品質製品を供給

連結貸借対照表 前期比較

(単位：百万円)

	2017/3	2018/3	増減
流動資産	97,021	111,331	+14,309
固定資産	100,238	109,554	+9,315
有形無形固定資産	56,978	61,288	+4,309
投資その他の資産	43,260	48,265	+5,005
資産合計	197,260	220,886	+23,625
流動負債	33,562	39,896	+6,334
固定負債	17,196	17,733	+537
負債合計	50,758	57,630	+6,872
純資産合計	146,502	163,255	+16,753
株主資本	113,291	123,762	+10,471
その他包括利益	10,006	14,589	+4,583
非支配株主持分	23,204	24,902	+1,698
負債純資産合計	197,260	220,886	+23,625
自己資本比率	62.5%	62.6%	

<主な増減>

現金預金の増加 +10,273
 売上債権の増加 +4,100

設備投資による増加 +8,668
 減価償却による減少 ▲5,381

投資有価証券の増加 +4,811

仕入債務の増加 +3,384

配当による減少 ▲2,473
 利益の計上による増加 +12,721

その他有価証券評価差額金 +3,504
 為替換算調整勘定 +1,049

※自己資本比率 = (純資産合計 - 非支配株主持分) / 負債純資産合計

2019年3月期 業績予想

(単位：百万円)

項 目	2018/3 実績	2019/3 予想	増減	増減率
売 上 高	114,840	116,500	+ 1,659	+ 1.4%
営 業 利 益	17,984	18,200	+ 215	+ 1.2%
経 常 利 益	20,750	20,600	▲ 150	▲ 0.7%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	12,721	12,600	▲ 121	▲ 1.0%
期 中 平 均 レ ー ト (U S D)	112.19円	108.00円		

- 海外における熱処理事業の拡大などにより、売上高及び営業利益については増収増益
- 為替レートが円高に推移していることによる持分法利益の減少などにより、経常利益及び当期純利益については減益

株主還元

■ 配当方針

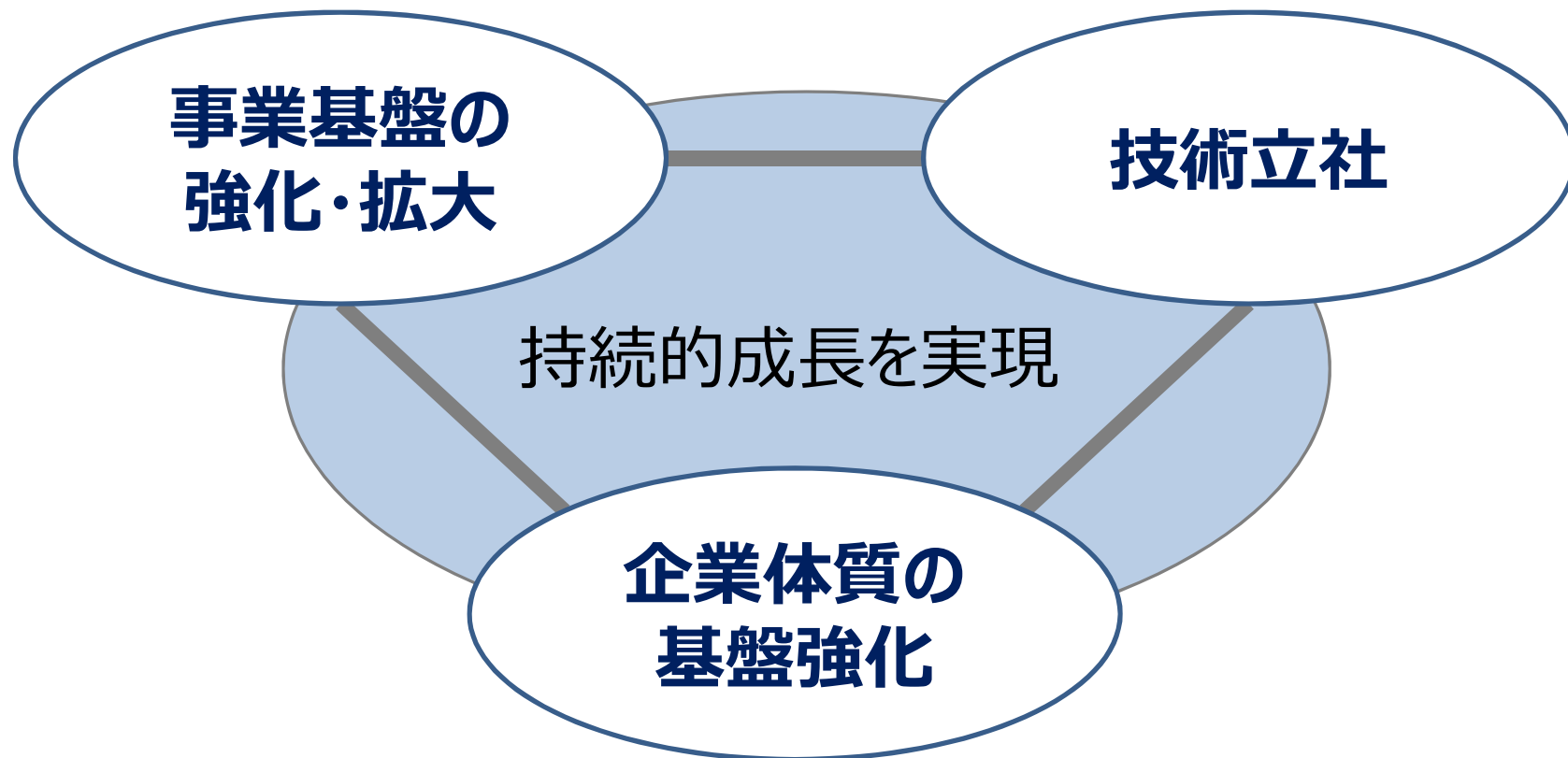
- 連結配当性向20%を目途に、将来の事業展開及び収益水準を勘案しつつ決定



第二次中期経営計画達成に向けた主な取り組み

＜第二次中期経営計画基本方針＞

あらゆる素材の表面改質の分野で市場における技術的な優位性を維持し、
表面改質分野に於けるグローバル・リーディング・カンパニーを目指す！



事業基盤の拡大強化

- 新規市場への参入・拡大
 - ✓ 自動車・鉄鋼業界以外への参入・拡大（航空機、エレクトロニクス、防衛、医療分野など）
- 成長市場である海外需要の確実な取り込み
 - ✓ 中国、メキシコ、インドなどへの新規投資の実施
 - ✓ 海外売上高比率50%以上を目標
- 新たなビジネスモデルの創出に挑戦
- M&Aやアライアンスを積極的に検討



技術立社

- 将来を見据えた研究開発テーマへの選定
- 新規市場参入拡大のための技術開発
 - ✓ 環境対応型製品の開発（耐久性向上、高機能化、エネルギー効率向上、クロムフリーなど）
 - ✓ 防錆以外の絶縁性、通電性、親水性、耐指紋性、意匠性などの多様な機能開発

機能	用途例
放熱 ⇔ 遮熱	ヒートシンク、エンジン部品、ルーフ材等
絶縁 ⇔ 導電	モータ部品、電磁波シールド材、電装材等
接着 ⇔ 非粘着	ゴム・樹脂-金属複合材、シール材、ラミネート材等
親水 ⇔ 撥水、撥油	熱交換器、防汚壁等
低摩擦 ⇔ 高摩擦	パワートレイン、クラッチ、スライドレール等
硬化 ⇔ 軟化	摺動部品、塑性加工部品等
錆安定化 ⇔ 補修防錆	耐候性鋼材、建材関係の補修等
その他	耐指紋鋼板

- 基礎研究の強化
 - ✓ 次世代自動車・航空機市場向け製品の開発
 - ✓ 非鉄素材、異材との接着・接合

表面に多様な機能を付与

PALLUCID は、リン酸鉄・リン酸亜鉛に代わる次世代表面処理剤。
バルシード

あらゆる塗装下地へ

バルシードは、従来のリン酸鉄とリン酸亜鉛のメリットを兼ね備えた画期的な性能を持つ塗装前処理剤。多用途・高品質で、環境にやさしく、トータルコストを低減します。

「バルリユーベR」プロセス

耐熱絶縁コーティング

- 絶縁破壊電圧は耐熱試験後でも大きく低下しない
- 膜厚の増加により絶縁破壊電圧の向上が可能
- 樹脂系コーティングにも関わらず高い耐熱性を維持

化合物層上部にリチウム鉄酸皮膜を形成「イソナイトLS」

鉄系金属の耐焼付き性を向上

特徴

- 従来の塩浴軟窒化(イソナイト)以上の高い耐食性
- 金型部品の寿命向上にも高い効果を発揮します
- 高ニッケル材への窒化処理が可能です

エレクトロニクス&銅・アルミ製造 用途向け

耐熱絶縁機能 表面処理剤

バルコートHRシリーズ

自己析出型コーティング

PALMIC
— パルミック —

表面処理 & めっき処理装置

基礎研究者用ラボ試験機・スケールアップと生産技術の検討に
エレクトロニクス関連部品の全自動処理装置に

プログラマブルコントローラーによる自動制御 プログラムメモリ機能標準のパターン装置
サーボモーター搭載自走キャリア方式 10インチタッチパネル表示と操作

塩浴軟窒化による独自の表面硬化法「イソナイト処理」

鉄系金属の特性を向上

◆耐摩耗性の向上<化合物層の効果> 鋼材表面層に生成する化合物層は硬度が高く、緻密な非金属組織のため耐摩耗性が向上。 ◆疲労強度の向上<圧縮層/圧縮応力の効果> 化合物層の下部に形成される圧縮層は平滑。切り欠き材/溶接部の疲労強度が向上。	◆曲げ強度の向上 曲げ強度は無処理材の2~3倍に向上。 ◆耐熱性の向上 300℃~600℃の温度域でも軟化しない ◆耐食性の向上 化合物層は非金属組織のため、亜鉛めっきやユニクロめっきと同等の耐食性を維持。
---	---

航空宇宙材料規格AMS2488処理

チタンの耐摩耗性を向上

カドミウム非含有 クロム非含有 ニッケル非含有 コバルト非含有 セラミックス不使用

BONDERITE — ボンデライト —

航空機用表面処理

航空機向けアルミ用表面処理工程 (加工時)

前処理ライン (洗浄・脱脂・化成処理) 1. 洗浄 2. 脱脂 3. 化成処理 4. 乾燥 5. 化成処理 6. 乾燥 7. 化成処理 8. 乾燥 9. 化成処理 10. 乾燥

素材/用途/コストに応じて仕様を提案「バルリユーベ処理」

画期的な固体潤滑システム

二硫化モリブデン グラファイト フッ素樹脂(PTFE) 高粘度・グリースを使わない

高硬度のセラミック皮膜を形成「PCC処理」

アルミ/マグネの硬度と耐食性を向上

高硬度 超耐摩耗 高耐食 高耐熱

日本マツダグループ認定「防錆処理」受託 航空技術協会「防錆処理」受託

イメージング&センシング関連技術

光学機器用光反射防止処理

ADAS車載センサ(カメラ・レーダー) ADAS車載ヘッドアップディスプレイ 光学機器・カメラ・顕微鏡

接着/接合下地用Al表面粗化技術「ケミプラスト処理」

アルミ-樹脂接合強化処理

環境にやさしく、お客様のコスト低減につながる技術を提供します

企業体質の基盤強化

- コーポレートガバナンスコードへの継続的な取り組みによるガバナンスの向上
- 監査等委員会設置会社への移行
- ガバナンス強化のための組織改革
- グローバル品質保証体制の強化
- 経営効率向上のための組織再編
- グループ連携の強化
- 国内外の人材育成と活用
- 生産性の向上、企業風土・意識改革



中期経営計画の達成見込み

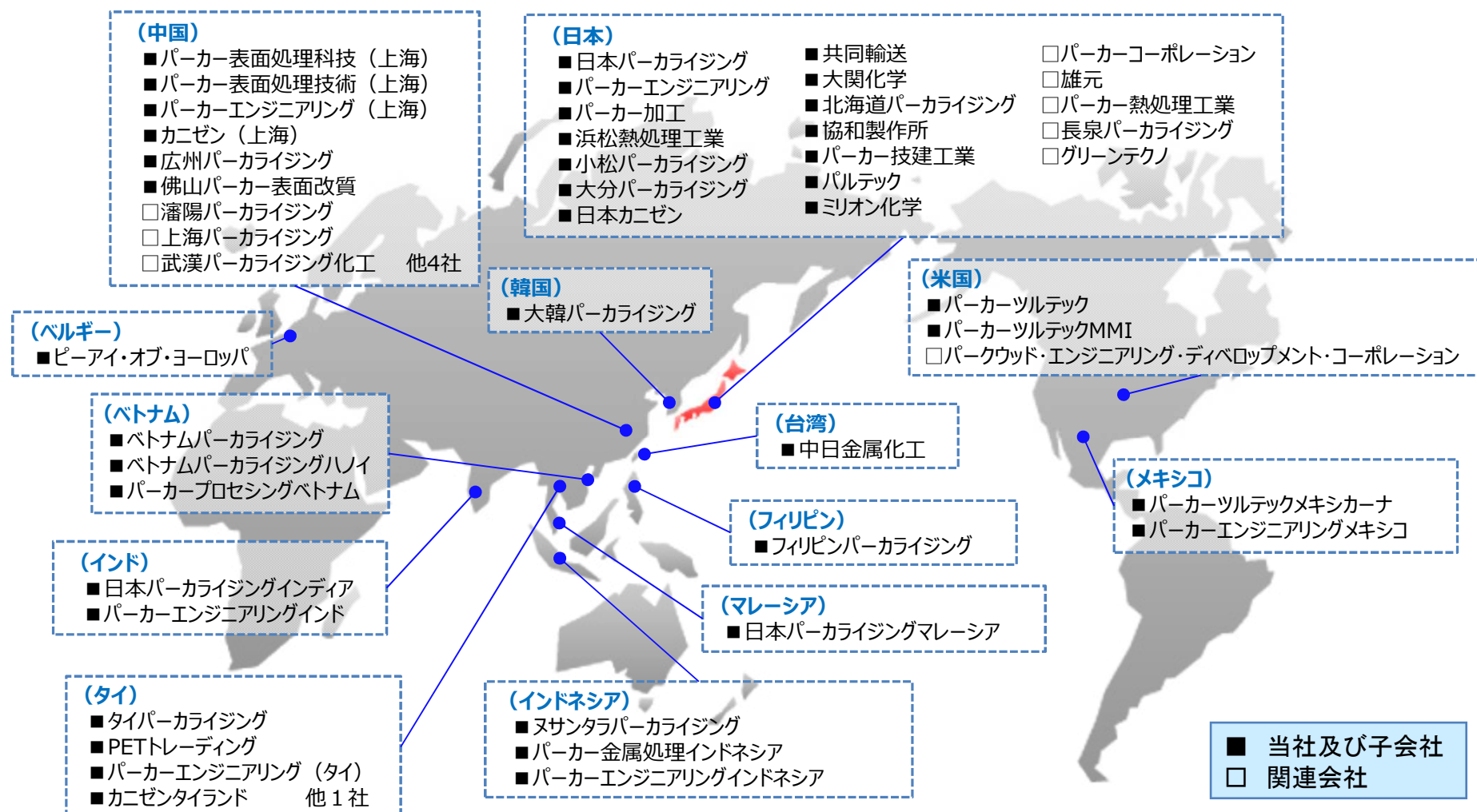
(単位：百万円)

項 目	2019/3 予想	2019/3 第2次中計目標	差額	達成率
売 上 高	116,500	120,000	▲3,500	97.1%
営 業 利 益	18,200	19,000	▲800	95.8%
経 常 利 益	20,600	21,000	▲400	98.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	12,600	12,000	+600	105.0%
想 定 為 替 レ ー ト (U S D)	108.00円	113.00円	-	-

参考資料

(参考) 関係会社一覧 (2018年3月31日現在)

子会社44社、関連会社11社のネットワーク





本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 経済状況、b) 為替レートの変動、c) 製品競争力、d) 法的規制、e) 知的財産保護の限界などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。